
情に要するところ、現在のこの多難な世界情勢を端なしの因襲の裡にあるとして、現在のこの錯綜する世相の中から明かに正邪を識別し、冷靜に是非を判別し、民主主義の本質に即ち新時代に適すべき操法、信條とを提擧し、それによつて國民共有の新世觀を確立し、それを基礎として、國家の進むべき方向と國民の偉業を一致融和させることが、青年團體結成の基本精神でなければならぬ。

然るに、現の青年は、不幸にあつてすでに風雲の雄生をうけるその成長を企望する精神が鋭く振發され、史无前例の勇氣に燃起して、學業を捨てる者も珍らなくなつた。更にまた戦後には、窮乏の況、世間の頹廢になつてゐるものより、むしろ其の一部に雖も隨つて向上の氣を喪失したものもあり、或他者の一部に續断なる敬愛に倣つて中庸の條件を忘却するものもあるなど、誠實なべき典型であるが、この様な諸弊常々意識之際して、學業と生活とを併立せんと欲したる難々な時代なるのは、その真相に徴して明らかな如くである。

而かもなお、これをただ皮肉に四開の趨勢に痛し、または從に政治的の責任を云ふとして、青年女からの部票、責任を顧みないでは、國家及び民族の救済に導く第一歩であらずして、世界の平和人類福祉に對する大いなる畏縮と言われればならぬ。

他、國民の機嫌は、その國民主体の移転から、その國民の絶對的欲求から發したものである。その國民によつてだけ讀み取れる。なぜなら或る國體にある一國民によつて培養になるものも、他の國民によつては毒藥になるからである。だから外國の改革を導入しようとするあらゆる試みは、それが國體の核心に根ざしていない限りは感かしてのことであり、そういう無理に企んだ事は命成功しない。

新潟縣 近藤 定男
湖風吹き荒る日本海を前にして
佐渡の灯も消えられたのかたは漆黒
の闇と波の音があふ。

に因る組合活動の停止に役立つて
とは論を俟つまでもない。

なりに健全な組合活動に成長するものもあるが、逆に歪流のまま不健全のままの組合も多い。これのときに友愛精神が鼓吹され、青年の啓蒙と融合を正しい理念で、好ましいことである。

アイクの新
政策をめく

つて
アイゼンハワー・粟米大補償
は、二月十日の野性演説つき
月日、米国会同議会、初教書
に「米日同盟助成會」

御水淹の正五保護を姓として
世界通商増進のための器用定
改訂を説いているが、笹葉の生ま
るのまゝ軍援援助と経理補助の代
り（米日同盟助成會）

は単なる同情化に終ずる。イン
ドネシア、マレー半島、閩
を考へられることに意味する
るところには、露南軍の支援
どころか侵略のつくところであ

うな話が出来たが、まづあじやないの、厭言を言へるお節を前にして「平塚で美三四の日願ふしとあるにヌ毛手」とつた。「あゝてゐる学生が少くない。若輩はくいでしょお節をなぶて二二でございませ」方々を同伴しいるとぞとて、いれりンテ昔年だ、花園まで「失礼だのはお方の白かてこそいひお節だが、きいてさうぢやありませんか、さうぢやないの、厭言を言へるお節を前にして「平塚で美

開發青年
隊の行方

んで欲しいと要求したが、農
の反対にあつて、遂当り二本
行くことになつたという。例
つて官庁のセクシヨナリズム

第一章 總則

第二 章 目的及び事業

は友愛精神を基調として青年の団結を図る
及び文化の全面に亘つて公正なる識見を傳へ
及び社会活動を援護して共助生存の実を遂

社会の実現と自主独立の文化国家の建設
とする。

及愛精神及び民主惠風の啓蒙
思想防衛と自衛体制並に生産増強及び国土
運動の推進

社会福祉と厚生文化を基本とする新生活運動の調査並びに青年運動に関する資料の調査青年の学究及び社会活動に対する援護協力

國際親善に資する青年運動
講演会、公聴会、討論会、座談会、その他
新聞紙及び各種刊行物の編集刊行

第三 章 會 員

るものを賛助会員とする。
しい入会者は会員二名以上の紹介により、幹事を要する。

連費を個人會と団体會に分け、それによつて、各部に所屬する個人會費と団体會費は、その資格に応じて左の通り會費を納入する。

(1) 個人會員……………年額金
(2) 団体會員……………一口年

納入した会費は、いかなる事由があつても
は本会の刊行する機関紙の配布及び各種刊

て、学究生活の援護その他種々の特典が与さ

愛青年同志會會員
會申込所

友愛青年同志會演
(電話九段)

會 金

記